

「移植後シクロフォスファミドを用いた小児血液悪性疾患に対する HLA 半合致移植に関する後方視的観察研究」へのご協力をお願い

埼玉県立小児医療センター血液・腫瘍科が所属している日本小児がん研究グループ(JCCG)と日本小児血液がん学会では、「移植後シクロフォスファミドを用いた小児血液悪性疾患に対する HLA 半合致移植の実態」についての全国規模のアンケート調査研究を実施しています。

この研究は今後の移植医療の改善を目指して実施されます。この研究にデータの提供を行いたくない患者様は、下記までご連絡ください。

研究課題名	移植後シクロフォスファミドを用いた小児血液悪性疾患に対する HLA 半合致移植に関する後方視的観察研究
研究の対象	JCCG 参加施設において 2012 年 1 月 1 日から 2022 年 7 月 31 日の間に PTCY を用いた HLA 半合致移植を施行した血液悪性疾患例(ALL、AML、MDS、リンパ腫、LCH など)を対象とします。年齢や疾患などは規定しません。
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的 及び利用方法)	本研究では、JCCG 参加施設より収集した血液悪性疾患に対する PTCY を用いた HLA 半合致移植の実態と有効性・安全性に関する情報を後方視的に解析することを目的とします。
研究期間	倫理委員会承認後～2025 年 9 月 30 日
研究に使用する試料・情報の種類	移植時年齢、疾患名、HLA 型、移植前処置内容、GVHD 予防、生着日、移植関連合併症、最終転帰など <u>(個人を特定できる情報の収集は行いません)</u>
研究実施機関(研究組織)	埼玉県立小児医療センター 日本小児がん研究グループ(JCCG)
外部への試料・情報の提供と その方法	各施設に電子メールでのアンケート調査を実施し、データを収集します。
本研究の代表者	埼玉県立小児医療センター血液・腫瘍科 三谷友一 Tel: 048-601-2200

本研究はヘルシンキ宣言(2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会での修正版)及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(令和 5 年 3 月 27 日一部改正)に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。本研究について、開示すべき利益相反はありません。